

沖縄芸能アトラクション紹介

・琉球舞踊（演舞内容：2～5名程度で15分～20分程）

琉球舞踊とは、沖縄県内で継承されている舞踊で2009年9月に重要無形文化財に指定されています。

三線・琴・笛・太鼓・胡弓で構成される地謡（じかた）によって演奏される琉球古典音楽に合わせて演舞され、古典舞踊、雑踊り（ぞうおどり）、創作舞踊に大別されます。

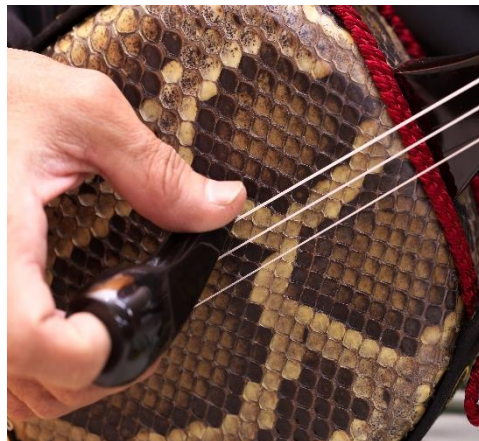
あらかじめ録音された音楽により演舞する場合があります。



・琉球民謡（演舞内容：1～2名程度で15分～30分程）

沖縄が琉球だった時代、王宮で始まった琉球古典音楽と、一般の人々が楽しんだ沖縄民謡があり、三線、琴、笛、太鼓、胡弓によって演奏されます。

日本民謡はほとんどが古典となっておりますが、沖縄民謡は現在でも新たな創作が続けられている活きた民謡です。



・伝統エイサー（演舞内容：5～15名程度で15分～20分程）

本土の盆踊りにあたる沖縄の伝統芸能のひとつで、主に各地域の青年会がそれぞれの型を持ち、旧盆の夜に地域内を踊りながら練り歩きます。

大太鼓・締め太鼓を中心にチョンダラーや手踊りが地謡（じかた）の生演奏で演舞するのが特徴的です。

あらかじめ録音された音楽により演舞する場合があります。



・創作エイサー（演舞内容：3～7名程度で15分～20分程）

伝統エイサーをもとにして創られ、沖縄民謡から沖縄ポップミュージックなどさまざまな音楽に合わせ各団体独自の斬新でアクロバットな演舞、華やかな衣装が特徴的です。

あらかじめ録音された音楽により演舞する場合があります。

